

平成31年度 市会事務局運営方針

親子ふれあい議場見学会の様子



*市会マスコットキャラクター
マタリーヌ*



*市会マスコットキャラクター
またきち*



市会議場一般公開の様子

平成31年4月
京都市会事務局

I 市会事務局の運営の基本方針

地方分権・地方創生が進展する中で、二元代表制の一翼を担う機関として、団体意思の決定機能、執行機関の監視機能、政策の立案機能などを発揮し、多様な民意を地方自治体の政策にいかすという地方議会の役割は、重要なものとなっています。

こうした状況の中、京都市会においては、京都市会及び京都市会議員の役割や目指すべき方向性を示した「京都市会基本条例」の施行、災害等の突発的な事案や緊急性のある課題に対し、速やかな対応を可能とする「通年議会」の導入など、議会機能の充実・強化を図ってきました。

今年度は、4月の議員改選を経て新たな議会の枠組みの中で新市会をスタートさせる重要な年となります。また、議会棟の改修・移転も控え、例年以上に円滑な議会運営に向けた事務局の役割が求められるところであります。

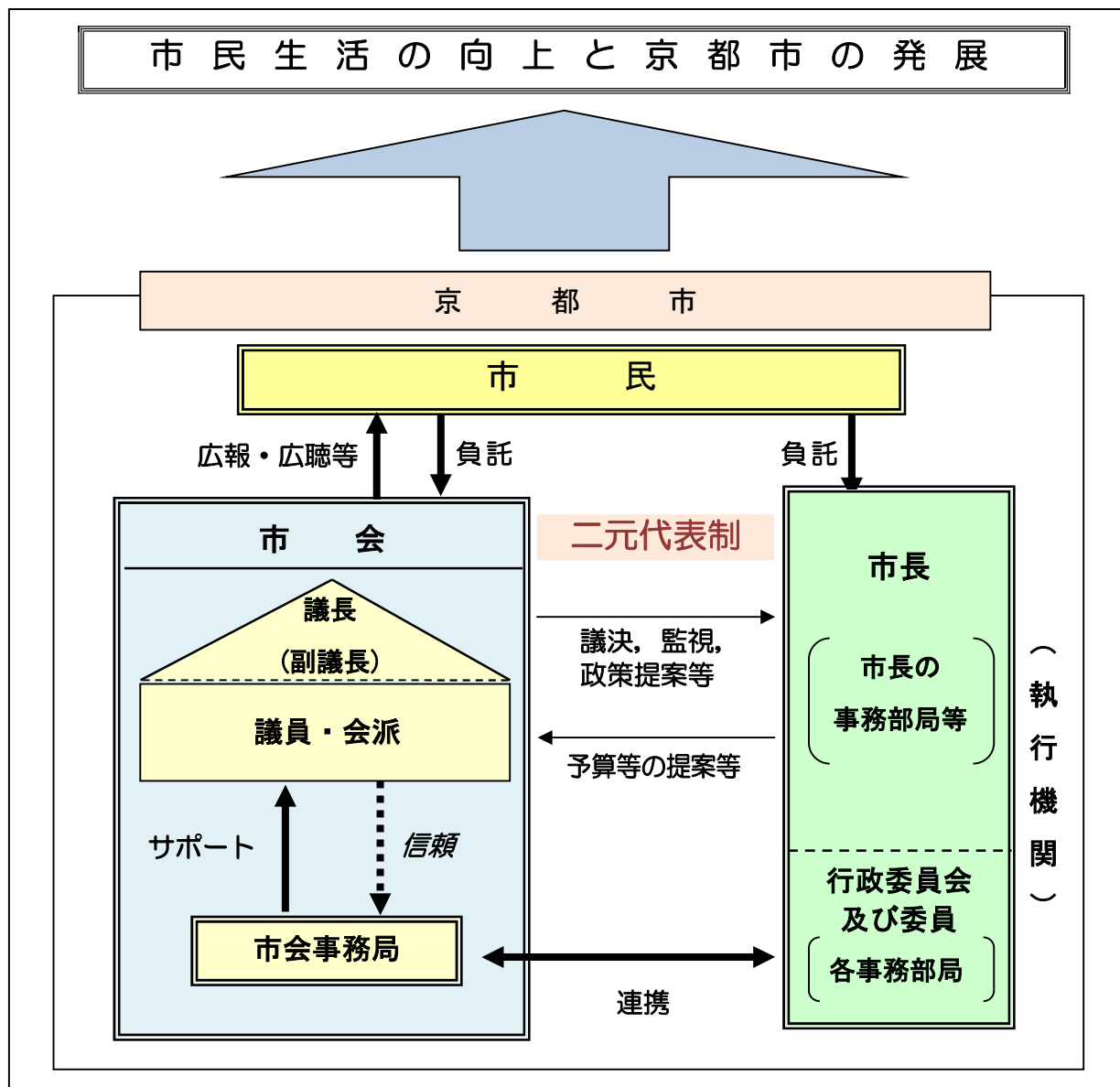
そのうえで市民の皆様からの負託を受けた京都市会の活動をしっかりとサポートするとともに、「見える市会」「伝わる市会」の取組を更に推進させることにより、市民生活の向上と京都市の発展に貢献できるよう、以下の基本方針に基づく取組を推進してまいります。

あわせて、京都市基本計画に加え、持続可能な魅力あふれる京都を実現するためのレジリエンス戦略や、国内外の様々な課題解決に向けて設定されたSDGsに掲げる目標など本市が策定した新たな総合的・横断的分野別計画についての理解を深め、政策への広い視野をかん養するとともに、執行機関との連携も推進し、事務局機能の強化を図ります。

<平成31年度 市会事務局の運営の基本方針>

京都市会が、京都市会基本条例に基づく取組を進め、二元代表制の一翼として、市民の皆様からの負託に corres 応することができるよう、市会事務局は、議員・会派からの信頼を得て、執行機関とも連携を図りながら事務局機能を確実に発揮してまいります。

<市民と市会，市長（執行機関）の相関図>



<市会事務局とSDGs>

【SDGsの17の目標】

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を 실현しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも減らしつつあり責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

市会事務局では、レジリエンス戦略やSDGsに掲げる目標等を十分に理解したうえで執行機関との連携を図りつつ、事務局機能を強化していきます！



Ⅱ 平成31年度 重点方針と取組内容

重点方針1 円滑な議会運営及び活発な議会活動のための事務局機能の発揮

京都市会が、市民の皆様代表として、団体意思の決定機能、執行機関に対する監視機能、議会独自の政策立案・政策提案機能等を最大限に発揮し、円滑な議会運営及び活発な議会活動を行えるよう、事務局機能を十分に発揮し、的確なサポートを行ってまいります。また、議会による働き方改革の取組に対しても、積極的にサポートしてまいります。

<取組内容>

- 議員改選後の新体制に基づく議員・各会派及び執行機関との緊密な連携による円滑な議会運営
- 「通年議会」制度下における本会議・委員会等の円滑な議事運営
- 京都市会基本条例に基づく「市会の権能強化」に向けた取組
- 活発な議論や審議の充実を担保しつつ、議会による職員の働き方改革に寄与する取組への積極的なサポート
- 正副議長公務の的確な遂行に向けた秘書機能の発揮
- 議会独自の政策立案、政策提案に資する調査及び法制機能の発揮
- 市会図書・情報室の調査（レファレンス）機能の発揮
- 議会活動関連情報の収集・分析及び議員への積極的な情報発信
- 国内外の先進事例調査のサポート
- 新庁舎整備に伴う議会棟移転の円滑な実施

重点方針2 「見える市会」「伝わる市会」の実現に向けた取組の推進

京都市会では、これまでの市会改革等を通じて、議会の活動が市民の皆様に分かりやすく伝わるよう、様々な取組を推進してきました。

今後も、多様な広報媒体によるタイムリーで幅広い情報発信等に努め、市民の皆様に「見える市会」「伝わる市会」の実現を目指します。

<取組内容>

- 様々な情報発信ツールを効果的に活用した多角的な広報の展開
 - ・ 市会だよりの年7回の発行と改選年度における特集号の発行
 - ・ 市会広報ポスターの地下鉄・市バスへの掲出
 - ・ フェイスブックを活用した、よりタイムリーで幅広い情報発信

- ・ 議長記者会見による情報発信の強化
- ・ 市会ホームページにおける市民意見受付フォームによる意見募集
- ・ 誰もが利用しやすく，必要な情報を入手できる市会ホームページの運営
- ・ 新聞広告を活用した市会トピックニュースの発信
- 政務活動費の適正な執行と更なる透明性の確保の支援
 - ・ 政務活動費の適正な執行のサポート
 - ・ インターネットにおける領収書の全面公開
- 本会議録・委員会記録の早期公開
- 本会議及び予算・決算特別委員会総括質疑のインターネット議会中継における手話通訳の実施
- 京都の次代を担う子どもたちや多くの市民の皆様に，市会や市政に関心を持っていただくための取組の推進
 - ・ 子ども議場見学，親子ふれあい議場見学会など議場見学の充実
 - ・ 市会紹介DVDやリーフレットの活用
 - ・ 市会日程等周知ポスターデザインの市民公募の実施

重点方針3 組織力の強化と働き方改革，職員的能力強化

事務局の目標達成と課題解決に向けた，積極的な情報共有や意見交換により，各所属の相互連携を図るなど，一体的な組織運営を行うとともに，業務の見直しや効率性の追求により，「働き方改革」に取り組み，職員の「真のワーク・ライフ・バランス」の実現にもつなげます。

<取組内容>

- 市会の権能強化のための更なる事務局機能の強化及び議会費予算の確保
- 管理職会議，係長会議，職場会議等の定例実施による組織的な情報共有
- 各担当業務の繁忙期を見据えた，事務局内相互の連携強化
- 研修やOJT（職場内訓練）等を通じた事務局職員の専門性の向上及び業務ノウハウの組織的な継承
- 公務員倫理，コンプライアンス及び情報セキュリティ対策の徹底及び実践につながる職場研修の実施
- 職員の「働き方」への意識改革及び職務改善の推進

Ⅲ 平成31年度 議会費予算の概要

平成31年度議会費当初予算の総額は22億7,900万円で、前年度比8,000万円の増となっています。

円滑な議会運営を図るための予算や「見える市会」「伝える市会」をより一層推進するための予算を確保するとともに、新庁舎整備事業に伴う議会棟の移転経費を計上しています。

【平成31年度 議会費予算】

(千円)

	31年度当初予算	30年度当初予算	前年度当初 予算額との比較
人件費	1,589,000	1,591,000	△2,000
議員報酬・期末手当	1,088,152	1,083,483	4,669
議員共済費	183,940	190,420	△6,480
職員給与等	316,908	317,097	△189
物件費	690,000	608,000	82,000
政務活動費	434,160	434,160	0
他都市調査, 本会議録・委員会記録作成等	93,583	88,847	4,736
市民に向けた情報発信 〔・市会だより作成・配布 ・会議録検索システム ・インターネット動画配信 ・本会議テレビ中継 ・市会広報ポスター・チラシの作成等〕	74,372	71,262	3,110
新庁舎整備事業に伴う 議会棟移転経費等	82,337	0	82,337
京都市会史(資料編)編さん	0	3,000	△3,000
その他議会運営経費	0	5,066	△5,066
市会図書・情報室運営費	4,396	4,343	53
その他事務経費	1,152	1,322	△170
計	2,279,000	2,199,000	80,000